

# 目的意識をもって、意欲的に取り組む英語活動の工夫

—「がんばりカード」を取り入れて—

小学校英語活動班 森 正樹 (小学校教諭)

## 1. 児童の実態と課題

英語活動は遊びの時間だと思っている児童が多い。



英語活動は、何を言っているのかよく分からないけど、ゲームばかりで楽しいよ。でも、本当は、何を言っているの分かりたいし、英語を話してみたいんだ。

## 2. 手立て

- ① 「がんばりカード」に活動計画を記す。「どんな活動がしたいか」考える。目標を設定し、具体的な姿への意識付けを行う。



- ③ 目指す姿に向かって取り組む。「できるようになったこと」などを振り返り、気持ちを高める。気持ちを高める振り返りを行うことで、意欲的に英語活動に取り組むようにする。

スパイラルに活動するイメージ

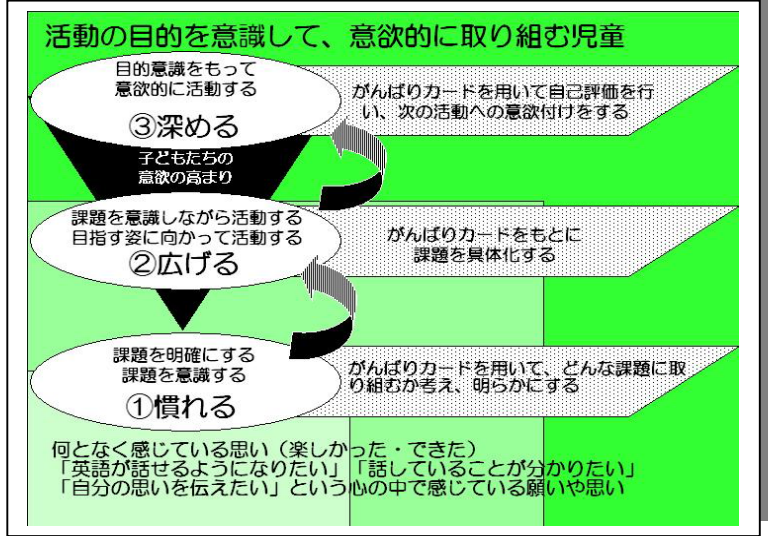
- ② 「がんばりカード」をもとにめあてを交流する。意識していることを交流し、他の児童が大切だと感じていることを知る。



英語ってただ、楽しいだけじゃなくて、めあてがあるととっても楽しくなるね。次も英語活動がんばろう！

## 3. 成果

- 「がんばりカード」を用いて、目指したい姿や、振り返りを交流することで、課題が明らかになり、意欲的に活動するようになった。
- 「がんばりカード」を活用し、めあてを意識させながら交流することで、「目標をもって、英語を試してみようとする時間」というように意識の変化が生まれた。



例〈がんばりカード〉

Lesson 6 「行ってみたい国を紹介しよう」

※1 「がんばりたいこと」は自分がどんな姿になりたいのかイメージをもつて書いてみよう。  
※2 「できるようになったこと・次がんばってみたいこと」には、楽しかったこと、できるようになったこと、次がんばってみたいことなどを書いてみよう。

学習活動	がんばりたいこと	できるようになったこと 次がんばってみたいこと
様々な英語があることを知ろう。 いろいろな国の友達英語を聞いているいろいろな英語があることを知ろう。 ・様々な国旗を見て、世界にはいろいろな国があることを知ろう。	たくさん人の英語を聞き分けて、それぞれの国の違いを知りたい。 ・たくさん人の英語があることを知る。	国によって英語でも少しずつ習得している。また、もくもく英語の知識が分かってきたことが目標もあり達成している。
行きたい国やその理由についてまとまった話を聞いてみよう。 ・世界にはいろいろな国があり、自慢できるもの(有名なもの)があることを知ろう。 ・行きたい国やその理由についてまとまった話を聞いて、そのおよそを知ろう。	それぞれの国の言い所などを知りたい。それ以外説明のやり方をしっかりと理解してできるようにしたい。	発表のやり方をうまくできなかつた。聞いては楽しめた。次は、次でもっといいように話したい。
行ってみたい国をたずねたり、たずねられたりしよう。 ・友達が行きたい国をたずねてみよう。 ・自分が行きたい国について話してみよう。	質問の仕方や答え方、少し分かるようにして自分に合ったように話せるようにしたい。友達に話して、自分も興味を持って話せるようにしたい。	質問のやり方、答え方は少し分かった。後は質問の仕方、話せるようにしたい。友達に話して、自分も興味を持って話せるようにしたい。
自分が行きたい国とその理由を発表しよう。 ・自分が行きたい国について理由をつけて発表しよう。 ・友達の行きたい国を聞いて、思いを感じ取ろう。	発表するにあたって、発表の準備も考えた。発表の準備も考えた。発表の準備も考えた。	発表するのを少しは楽しめた。発表するのを少しは楽しめた。発表するのを少しは楽しめた。

Illustrations of children at the bottom of the page.

## 4. 課題

- 「がんばりカード」を何度か用いると書く内容が同じになることが考えられる。そのため、視点を変えたり、形式を変えたり、児童同士で振り返りを行わせたりするなどの工夫が必要である。
- 「がんばりカード」を与えるだけでは、単なる振り返りになってしまい、振り返りを生かした実践に繋げていくことは難しい。そこで、「がんばりカード」を手がかりにして、個別に支援することで、「話したい」「聞きたい」といった「思い」が生まれ、意欲へとつながると考える。



